

各 位

上場会社名 ファースト住建株式会社
代表者 代表取締役社長 中島 雄司
(コード番号 8917)
問合せ先責任者 取締役管理部長 東 秀彦
(TEL 06-4868-5388)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和元年12月13日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和2年10月期通期連結業績予想数値の修正(令和元年11月1日～令和2年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,390	3,440	3,340	2,180	157.07
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (令和元年10月期)	43,111	3,764	3,673	2,404	173.27

修正の理由

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各国においてロックダウンや外出自粛などが行われ、経済活動は大きく停滞し、世界経済は大きな打撃を受ける状況となっております。わが国におきましても、緊急事態宣言が発令され、休業、外出自粛を余儀なくされる事態となりました。また、依然として新型コロナウイルス感染症が収束するまでの見通しは立っており、景気の先行きについても予測することが極めて困難な状況となっております。

当社グループの事業活動におきましては、マスクの着用、除菌液の設置、シフト勤務やオフィスの分散などの感染防止対策を実施することで事業活動を継続してまいりましたため、当第2四半期連結累計期間の経営成績における影響は限定的であったと考えております。しかしながら、今後の景気及び新型コロナウイルス感染症の動向によっては、住宅需要、住宅供給可能棟数、不動産相場などが悪化し、これらが経営成績へ影響を及ぼす可能性があり、また、その影響を現時点で適正かつ合理的に算定することは非常に困難な状況であるため、令和2年10月期の通期連結業績予想につきましては前回発表予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。

引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響や景気動向、経営成績の進捗状況などを検討し、当社グループの連結業績予想について適正かつ合理的な算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (令和元年12月13日発表)	—	—	—	22.00	43.00
今回修正予想	—	—	—	—	—
当期実績	—	21.00	—	—	—
前期実績 (令和元年10月期)	—	21.00	—	22.00	43.00

修正の理由

当社は、剰余金の配当につきましては、将来の事業展開に備えるための内部留保資金の確保、並びに企業業績等も勘案したうえで、安定した利益還元を念頭に置きながら、配当性向20%を目標として実施してまいりたいと考えております。しかしながら、上記の通り令和2年10月期通期連結業績予想を未定とすることから、当連結会計年度の期末配当予想についても前回予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。

今後、当社グループの連結業績予想の算定が可能となった時点で、配当予想についても速やかに開示いたします。

以 上